

(法第28条第1項関係様式例)

令和4年度事業報告書

令和4年8月1日から令和5年7月31日まで

(法人の名称：特定非営利活動法人クリオン虹の基金)

1 事業の成果

以下の事業を実施した。

(1) 日本国内において、ハンセン病問題や人権問題の啓発活動を行った。

昨年度制作した理事長伊波敏男のインタビューDVDを引き続き希望者に配付した。

令和4年5月から、理事長伊波敏男の著書「花に逢はん」の英文翻訳プロジェクトを進めてきたが、事業年度終了後の令和5年9月5日に全文をホームページで公開した。

(<https://rainbow-culion.net/books/ihatoshio/>)

(2) ハンセン病問題の啓発活動として、取材対応をした。具体的な実施対象については、3を参照のこと。

(3) フィリピン共和国の医学生や地域医療関係者への奨学金支給事業は、現地政府の奨学金制度が拡充されたため給付はなかった。一方、地域社会を支える人材を育成するプロジェクトが引き続き実施され、有機農業関係者等のプロジェクトに対して、当法人が使途指定で寄付しているサンバリ財団から839千円(324,086ペソ)の支援が行われた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
(1) この法人の目的に賛同する個人・団体等から寄せられた浄財を、サンバリ財団に寄付することにより、フィリピン共和国国内の地域医療を志す学生や地域医療に取り組む医療関係者を支援する事業及び有機農業により地域社会を支える人材を育成し支援する事業	① ホームページを通じてハンセン病問題や人権問題の啓発活動を行った。	(A) 通年 (B) 主たる事務所 (C) 6人	(D) 不特定多数 (E) 不特定多数	199
	② 「花に逢はん」英文翻訳プロジェクトを実施した。	(A) 通年 (B) 学校等 (C) 1人	(D) 不特定多数 (E) 不特定多数	—
	③ 学校等からの依頼により、ハンセン病問題への啓発講演を実施した。	—	—	—

(2) 日本とフィリピン共和国の地域医療を志す学生や地域医療に取り組む医療関係者及び地域社会を支えるために有機農業に取り組む関係者の交流を深める事業	* フィリピン共和国の支援先サンバリ財団を通じた有機農業等の支援	(A) 通年 (B) 学校等 (C) 1人	(D) 不特定多数 (E) 不特定多数	—
--	----------------------------------	-----------------------------	------------------------	---

- 3 ハンセン病問題を啓発講演等
伊波理事長による講演や取材対応
(公財) 東京都人権啓発センターの96号のインタビュー対応